

Sustainable Report No.081

環境に配慮した 子ども服

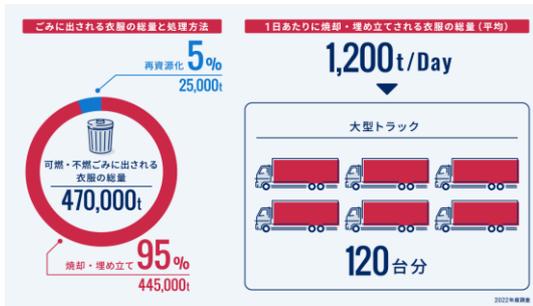


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

- 日本では2022年に37億点の衣類が市場に供給された。そのうち**47万tが可燃・不燃ごみとして廃棄**され、うち95%にあたる44万tは焼却・埋め立て処分された。
- 背景として、2000年代からファストファッションが流行し、トレンドの衣類が**安価に大量生産され短いサイクルの販売が主流**になった。現在世界的にサステナブルな取組みが増える中で見直されている。
- 廃棄された衣服の**焼却による二酸化炭素排出は年間16.5億t-CO2**と見込まれ、大気中の二酸化炭素濃度が高まり熱の吸収が増えることで、地球温暖化の進行が懸念される。

■ ごみの排出量

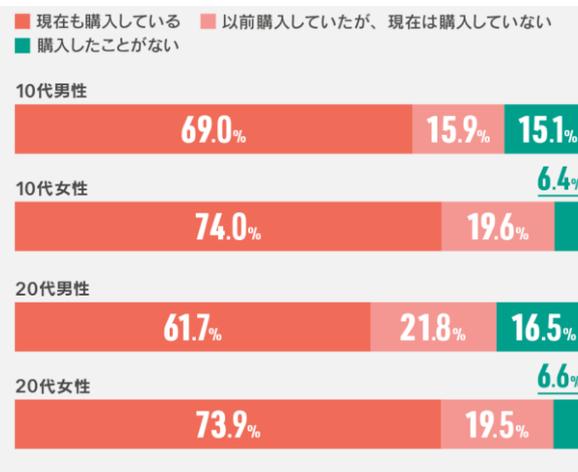


■ 1人あたりの衣服消費・利用状況



出典：環境省

■ ファストファッション利用率



出典：株式会社テストイー

▶NEXT：おさがりしやすい「お名前タグ」を提供

■ 実行者／解決方法／残る課題

- Sunday Morning Factory 株式会社は、2017年にベビー服ブランド「Haruulala」を展開
- 同社は「生まれた環境、時代に左右されない、希望に満ちた明るい未来や豊かで美しい地球を子どもたちに贈りたい」と掲げて事業を展開。
- 服に縫い付けられた「お名前タグ」に3人分の名前を書く欄を用意してキリトリ線で区切り、限りある資源を大切に使えるように、まだ着れる服は次の方に譲りやすくなるようにした。
- 一方でサイズアウトしても周りで必要としている人がわからず、譲る先が見つからないことで廃棄してしまうことがあるのではないかと。

■ おさがり対応のお名前タグ



出典：左右ともにHaruulala

■ 2019年度グッドデザイン賞を受賞

1. おさがりとしてもらった服にも、自分の子どもの名前が書ける
2. 説明がいらす、直観的である
3. おさがりを促進し、サステイナブルな社会を実現

■ グッドデザイン賞審査委員の評価

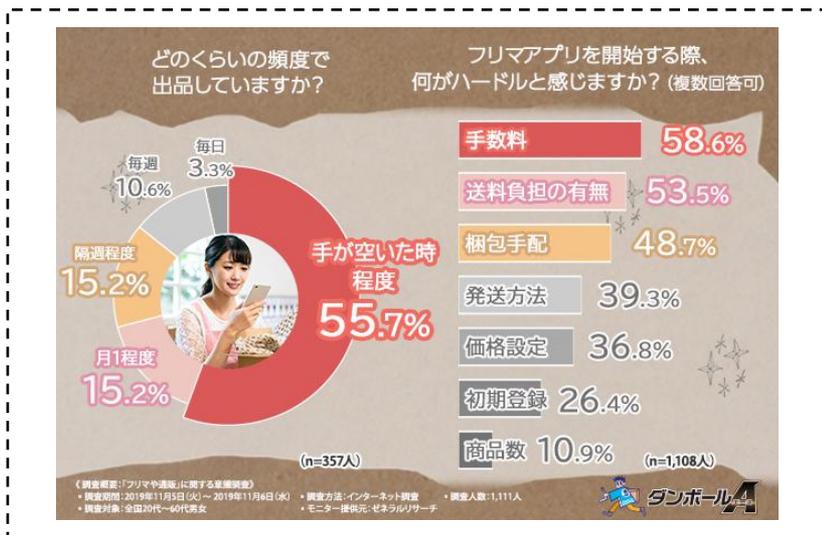
製品タグに名前を書く欄を増やすという必要最小限の施しだけで、おさがりを促す仕組みがデザインされていることを評価した。おさがりを促すと同時に、これからおさがりになることを示唆することも出来、子供が衣類を大事にし、サステイナブルな循環を学ぶツールにもなり得るのではないかと。

▶NEXT：近くに子ども服を必要とする人がいなくても譲れる仕組み

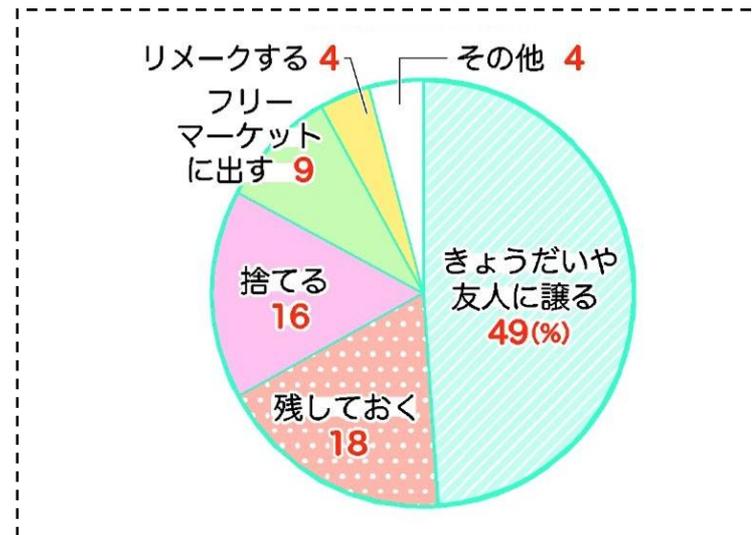
■ 弊害の原因／理想／企業施策

- ママ友同士の**交流がないと洋服を譲ってほしい人の情報が入ってこず**、不特定多数に向けたフリマアプリは時間と手間がかかるためハードルが高いのではないか。
- 近くで洋服を譲ってほしい人との繋がりがあり、**手間をかけずに気軽に受け渡せる状態が理想**である。
- **子ども服を取り扱う店舗を持つ事業者が間に入り**、使わなくなった子ども服やベビー用品を簡単に譲れるシステムを作ることが求められる。

■ フリマアプリを開始するハードル



■ 着られなくなった服はどうしている？



本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 環境省, 「SUSTAINABLE FASHION これからのファッションを持続可能に」, 2023年10月12日参照
(https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)
- 織研新聞社, 「22年の衣類国内供給量 輸入が膨らみ前年比2.5%増 輸入浸透率は98.5%へ上昇」, 2023年6月21日
(<https://senken.co.jp/posts/domestic-supply-230621>)
- 株式会社テストイー, 「ファストファッションに関する調査【2020年版】」, 2020年7月13日 (https://lab.testee.co/fastfashion_2020/)
- Haruulala, 「お名前タグを、3人分」, 2022年12月27日 (<https://haruulala.life/aboutus/>)
- アースダンボール, 「フリマへの出品で煩わしいのはお金の計算と発送の手間」, 2019年11月21日
(<https://seniorguide.jp/article/1219530.html>)
- 下野新聞, 「子ども服、どうしてる？ 購入7割、おさがり派も」, 2022年6月4日 (<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/596515?relatedarticle>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。